

2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
理科	化学基礎	2		本校教員・スクーリング講師
指導目標				
・日常生活や社会との関連を回りながら、物質とその変化について理解する。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
教科書名	高等学校 新化学基礎	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 12 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接時数 8 時間	メディア減免時数	4時間	
定期試験	あり	年間・学期 1 回	評価割合	定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	物質とその構成要素①	5月10日
2	物質とその構成要素②	5月25日
3	化学結合	6月10日
4	物質量と化学反応式	6月25日
5	酸と塩基とその反応	7月10日
6	酸化還元反応	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	物質の分離、物質を構成する元素、元素の確認	4月18日
2	物質の三態、原子のなりたち、同位体とその利用	5月2日
3	原子の電子配置、元素の周期律と周期表	5月10日
4	イオン、イオン結合、イオンからなる物質	5月13日
5	共有結合、分子の極性、分子間に働く力、分子からなる物質、共有結合の結晶、金属結合と金属結晶	5月23日
6	原子量、分子量、式量、物質量と粒子の個数、質量、気体の体積	6月6日
7	物質量の計算 演習	6月10日
8	溶解と濃度、化学反応式、化学反応式と量的関係	6月20日
9	酸と塩基、酸・塩基の強弱、水素イオン濃度とpH、pHの測定	7月4日
10	中和と塩、中和の量的関係、中和滴定、中和確定曲線	7月8日
11	酸化と還元、酸化数、酸化剤と還元剤	7月12日
12	金属のイオン化傾向、金属の反応性、電池、電気分解	7月19日

メディア減免 視聴メディアおよび視聴項目		
配信回数	学習内容	視聴時期の目安
1	身近にある物質の分離	

2	周期表のポイントをおさえよう	4月1日～4月30日
3	学習のまとめ①	
4	金属の利用	
5	化学結合と結晶のまとめ	5月1日～5月31日
6	学習のまとめ②	
7	物質量の計算のポイントを押さえる	
8	化学反応式の量的関係のポイント	
9	学習のまとめ③	6月1日～6月30日
10	化学反応式と熱の出入り	
11	学習のまとめ④	
12	身のまわりにある酸と塩基	7月1日～7月31日
13	学習のまとめ⑤	
14	酸化還元反応の利用	
15	実用電池	
16	学習のまとめ⑥	

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月25・26日